

LIBERAL&DEMOCRATIC

自由民主

発行所
自由民主党本部
郵便番号 100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京 03(3581)6211(代表)
定価 1部 105円(税込み)
<毎週火曜日発行>



自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

古賀あつし議員の1年

平成24年12月16日に行われた第46回衆議院議員総選挙により、わが党は政権復帰を果たし、また昨夏の参議院選挙を経て、衆参のねじれ状態が解消されました。

平成26年、引き続き安倍政権は経済再生をはじめ、日本国の飛躍のため、各政策を推進していきます。

今回は、福岡3区(早良区・西区・糸島市)より選出された古賀あつし代議士のこの1年の政治活動について特集します。

現在、古賀代議士は国会で厚生労働委員会、法務委員会に所属するほか、党では青年局次長を務めています。また政策グループ「宏池会」に所属しています。



プロフィール

昭和47年7月14日福岡市生まれ、現在41歳。
久留米大学附設中・高等学校、東京大学法学部卒。
財務省(旧大蔵省)に15年間勤務。会計士補の資格を持つ。
妻と長男(小学校1年生)の3人家族。趣味は料理、カラオケ。座右の銘「一意専心」。

平成24年 冬



12月4日～16日 衆議院議員総選挙

寒く厳しい選挙戦、古賀候補は多くの方に支持を訴えました。その結果、11万8,299人の方からご支持賜り、初当選を果たしました。



12月26日 初登院

特別国会が召集され、初登院しました。(国会議事堂をバックに布佐子夫人と)

ごあいさつ

皆様のご支援、ご指導を賜り、おかげさまで議員活動二年目を迎えることができ、心から感謝申し上げます。

さて、この度、平成二十五年の活動報告をさせて頂きます。この一年、「覚悟と責任」の想いを胸に、日々活動を続けてまいりました。

課題山積の国政ですが、十年後、二十年後の日本を思い描き、今やるべきことを着実に実行してまいります。

今後とも何卒宜しくお願い致します。

覚悟と責任

衆議院議員

古賀 篤

東京での活動

東京では、国会における本会議や各委員会、党での各部会、議員連盟に出席し、法案や政策について論議します。



党の部会での議論

また議員会館(東京事務所)においては、地元から上京された方の対応、各省庁からのヒアリング等を行います。

国会開会中の活動は、いわゆる「金帰月来」、金曜夜に福岡に帰り、週末、地元の行事や会合に参加、月曜に上京し、平日は東京で活動するという、多忙な毎日です。



東京事務所／東京都千代田区永田町2-1-2
衆議院第二議員会館 216号室 TEL 03-3508-7081

農林水産業の明るい未来のために

日本政府はTPP(環太平洋経済連携協定)において、現在、アメリカをはじめ関係国と厳しい交渉を行っているところです。国益の観点から、交渉上、米や麦など農産物重要5品目の関税を保持することや、わが国の医療制度、金融サービス分野を守ることが大変重要です。

また、TPP以外でも、農林水産業は今、燃油の高騰による経営の圧迫や生産物価格の低迷、更には減反の見直しなど農政の大転換といった問題に直面しています。

古賀代議士はこうした現状を踏まえ、党内の関係会合や同僚議員

との勉強会等に積極的に参加しています。また、JA関係者との意見交換会のほか、特産物のPRや現場での作業体験など、農政に対する理解を深め、将来に続く農林水産業を築くため、日夜取り組んでいます。

古賀代議士のコメント

わが国の農林水産業を展せていくことは、日本人の大切な“食”を守ることにつながります。TPPに対してもそうした想いを持って、ぶれずに毅然と対処していきます。

地域の安全・安心を守る

更生保護とは、犯罪を犯した者や非行のある少年が、実社会の中で健全に更生できるように支援し、再犯の予防を図るための活動のことです。

古賀代議士は現在、更生保護の

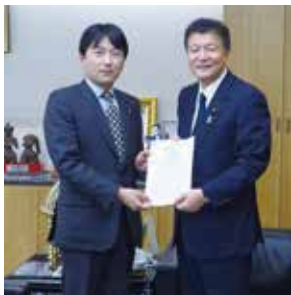


法務委員会での質疑(25年11月)

分野、特に保護司活動の支援に力を入れています。具体的には、所属する法務委員会で更生保護の必要性に



厚生労働大臣への要望(25年11月)



総務大臣への要望(25年11月)



保護司との意見交換会(25年10月)



人はみな、生かされて生きてゆく。
更生保護ネットワーク

『生きるマーク』
「生」をモチーフに、樹木の芽が伸びていく様を表現したものであり、更生保護のシンボルマークです。

ついて訴えたほか、党内においては「更生保護を考える議員の会」において事務局次長を務め、財務省や関係省庁と調整を行うなど積極的に取り組んでいます。その成果として、平成26年度の更生保護予算は、保護司の方の金銭的負担の軽減や更生保護施設の補助率拡大など、例年になく充実したものとなっています。

古賀代議士のコメント

篤志家である保護司の方が更に活躍いただけるよう、尽力します。



東京・大田市場での博多あまおう販促(25年12月)



九州・沖縄の一回生議員との水産勉強会(月一で開催)



JA関係者との勉強会(25年12月)



糸島・加布里漁港での海苔種付け(25年10月)

地域医療の充実

少子高齢化が進展していく中、社会保障の改革は喫緊の課題となっています。その政策の一つとして、政府は、住み慣れた地域で、人生の最期を迎えることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制(地域包括ケアシステム)の構築を推進しています。

地域医療の充実のため、古賀代議士は、医師や歯科医師、薬剤師、介護施設関係者、自治体職員等との意見交換を行い、そこへいただいた貴重な意見を厚生労働委員会での法案審議や党内での議論に生かしています。



厚生労働委員会での質疑(25年11月)



若手医師との勉強会(25年12月)

古賀代議士のコメント

老いや病は誰にでも起きること。より安心して暮らしていける社会を目指し、地道に取り組めます。

子供たちのための 教育・保育

幼児期における
教育・保育の充実の
ため、平成27年4月
より「子ども・子育て
支援新制度」がスタートします。



子ども・子育て支援新制度
シンボルマーク
「すくすくジャパン！」

現在、そのための最終作業が政府やわが党の特別委員会、議員連盟で行われており、3月末までにほぼ終了する予定です。

古賀代議士は、地元関係者への経過報告、意見交換を行い、現場の声を踏まえ、党内各会のメンバーとして鋭意作業を進めています。

子ども・子育て支援
新制度問題PT
(25年12月開始)

保育協会との
勉強会(26年1月)



古賀代議士のコメント

現在、保育議連でプロジェクトチームを立ち上げ、新制度の議論を行っています。「子は宝」、将来を担う大切な子供達のために良い仕組みを作ります。

議員連盟

古賀代議士は、現在以下の議員連盟(特定分野・テーマについて有志の議員で構成される組織)に所属し、会合で積極的に議論を行っています。

- 全国保育関係議員連盟
- 幼児教育議員連盟
- 国民医療を守る議員の会
- 有床診療所の活性化を目指す議員連盟
- 国民歯科問題議員連盟
- 看護問題対策議員連盟
- 介護福祉議員連盟
- 保険制度改善推進議員連盟
- 発達障害の支援を考える議員連盟
- 栄養士議員連盟
- 児童の養護と未来を考える議員連盟
- 更生保護を考える議員の会
- 超党派で再犯防止を進める議員連盟
- 遺家族議員協議会
- 港湾議員連盟
- 治水議員連盟
- 建築設計議員連盟
- TPP交渉における国益を守り抜く会
- 水産政策推進議員協議会
- 漁港漁場漁村整備促進議員連盟
- フラワー産業議員連盟
- 都市農業研究会
- タクシー・ハイヤー議員連盟
- トラック輸送振興議員連盟
- バス議員連盟
- 自動車整備議員連盟
- 賃貸住宅対策議員連盟
- 観光産業振興議員連盟
- 国際観光産業振興議員連盟(IR議連)
- 公団住宅居住者を守る議員連盟
- 海上保安議員連盟
- 消防議員連盟
- 郵便局の新たな利活用を推進する議員連盟
- リニアコライダー(先端線形加速器)国際研究所建設推進議員連盟
- FCV(燃料電池自動車)を中心とした水素社会実現を促進する研究会
- 公認会計士制度振興国会議員連盟
- 街の酒屋さんを守る国会議員の会
- 國酒を愛する議員の会
- コンピュータ会計推進議員連盟(TKC議連)
- 証券市場育成等議員連盟
- グラウンド・ゴルフ振興議員連盟
- ライブ・エンタテインメント議員連盟
- 電子式投開票システム研究会

(順不同)

青年局の活動

わが党の青年局は、45歳以下の国会議員と、47都道府県の地方議員、会社員、大学生などの若手党員で構成されています。国会議員では、小泉進次郎前局長、昨年10月からは松本洋平局長の下、総勢87名の衆参議員が属しています。

青年局の活動は、毎週金曜日に定期会合を行うほか、各都道府県連の青年局、青年部と連携を図り、全国一斉街頭行動などを行っています。

また、昨年は、9月に台湾を訪問し、東日本大震災に対する物心両面の支援への謝意を伝えるとともに、日台交流を深めるため、馬英九総統への表敬訪問や李登輝元総統による講演、台湾立法委員との意見交換などを行いました。



台湾を訪問、馬英九総統を表敬
(25年9月)

このほか、東日本大震災被災地の復興を後押しするため、毎月11日、各被災地を訪ね、復興の現場に足を運び、TEA M-11(チーム・イレブン)の活動を継続中です。古賀代議士は12月に岩手県に伺い、田野畑村の集団移転造成現場で進捗状況を視察したほか、津波来襲時の状況把握などを行いました。

天神ツインビル
前での
一斉街頭演説
(25年6月)



チーム・イレブンで
岩手の被災地を訪問
(25年12月)

視察

最先端研究施設や、特別支援学校、児童養護施設など地元にある各種施設を視察するとともに、国会閉会中の期間を利用し、沖縄視察等を実施しました。



九州・沖縄の同僚議員と沖縄視察(25年9月)

古賀代議士のコメント
現場の声を十分踏まえた政策を作るため、これからも各地に足を運び、真摯に耳を傾けてまいります。



九州大学の水素エネルギー研究施設(26年1月)



特別支援学校(25年5月)

国会見学

個人・団体を問わず、国会見学をご希望の方は自由民主党福岡県第二選挙区支部までご連絡ください。



地元での活動

地元福岡では朝の辻立ちや地域行事への出席のほか、各小学校区毎の国政報告会の開催など、精力的な活動を行っています。

また、医師や公認会計士から成る会や、農業従事者、保育関係者、保護司との勉強会などを通じて、各分野での情報収集、意見交換に努めています。

このほか、地域からの要望を受け、糸島・芥屋の松くい虫被害対策や、JR下山門駅のバリアフリー化事業、九州大学伊都キャンパスの移転事業の推進、国道202号線の整備等を実現するなど、地域発展に取り組んでいます。

政治活動



ホテル日航福岡でのセミナー(25年10月)



朝の辻立ち
(写真は糸島市内)



各小学校区での
国政報告会
(写真は9月実施の
野芥校区)

地域行事



各地区の敬老会(写真は25年9月実施の吉岐校区)



各地区の
餅つき大会
(写真は25年
12月実施の
今宿校区)



各地区の運動会
(写真は25年10月実施の原北校区)

会の発足



地元医師の方から成る会
(25年9月)



公認会計士の方から成る会
(25年11月)

地域振興

JR下山門駅にエレベーター3基等を設置(27年3月に完成予定)



九州大学伊都キャンパスに国際村や実験施設を整備



芥屋の松林で
松枯れ対策の
枝拾い
(25年3月)



自由民主党党員の募集

わが党は、結党以来、国民の皆さんとともに歩んできました。今その原点に立ち返り、未来に向けて再び、皆さんとともに前進したいと願っています。自民党に入党して、党員として自民党を支えてください。



なお、党費は一般党員年額4,000円、家族党員(同一世帯に一般党員1名が必要)年額2,000円です。

入党手続きやご質問等は、下記支部までご連絡ください。

自由民主党 福岡県第三選挙区支部

〒814-0031
福岡市早良区南庄2-1-25
TEL 092-822-5051
FAX 092-822-6868

オフィシャルサイト

<http://www.kogaatsushi.com/>



福岡3区
早良区
西区
糸島市



選挙結果

平成25年7月に参議院議員選挙が実施され、福岡県選挙区で松山政司議員が再選したほか、各選挙区で自民党が勝利し、衆参ねじれが解消されました。

今年1、2月には糸島市長・市議選挙が行われ、月形祐二市長が誕生しました。

参議院選挙
(25年7月)



糸島市長選挙
(26年1月)